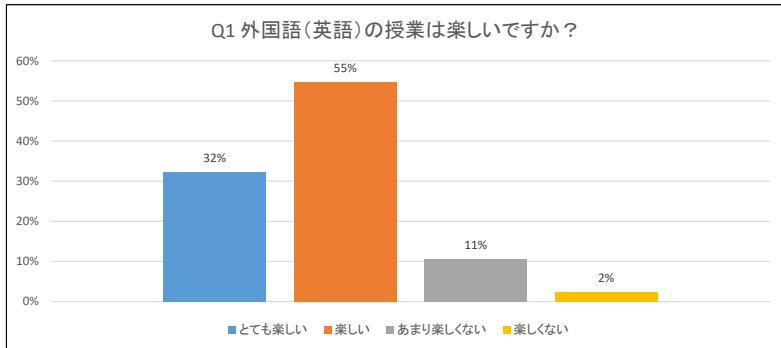
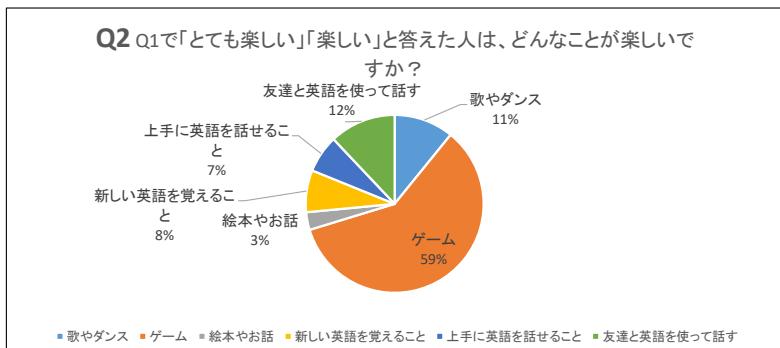


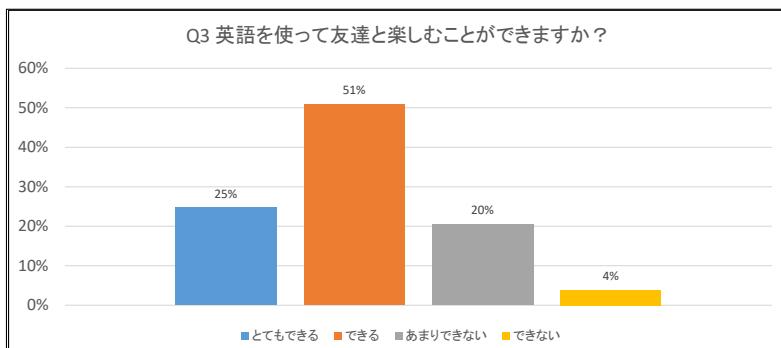
令和6年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(不知火小)



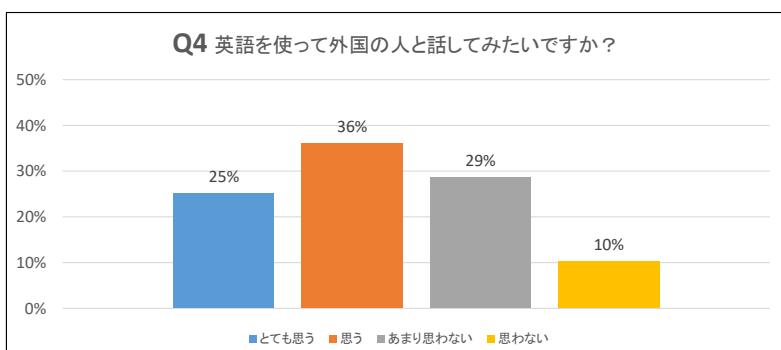
【Q1について】
外国語(英語)の授業が、「とても楽しい」「楽しい」と答えた児童の割合が87%であった。外国語(英語)の授業を好意的に受け止めていると考えられる。



【Q2について】
児童が楽しいと感じている割合が大きいものは「ゲーム的な活動」(59%)である。活動が伴うもののが好む傾向にある。
また、「友達と英語を使って話すこと」(12%)や、「新しい英語を覚えること」(8%)が楽しいと感じる児童も増えてきている。



【Q3について】
76%の児童が、英語を使って友達と楽しむことが「とてもできる」「できる」と答えている。英語を使ってコミュニケーションをとることを楽しんでいると考えられる。



【Q4について】
61%の児童が、英語を使って外国人の人と話してみたいと考えている。実際に使う場面が限られたいことや、外国人の人と実際に話す機会がほとんどないことから、割合が高くないのだと考えられる。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】
(保護者)
外国語(英語)学習にたいして、コミュニケーション力を高めてほしいという意見や、外国の文化に慣れ親しんでほしいという意見が多くかった。
(学校関係者)
コミュニケーション力を高めると同時に、自分の考えを積極的に表現できるようになってほしいという意見があった。

【考察・今後の展望等】
これからも、表現できた喜びを味わったり、伝え合うことの楽しさや必要感を感じたりする授業を開拓していく。学校全体として、外国語(英語)の時間が好きである児童が多い傾向にあるので、更に意欲的に取り組んでいける児童を育てていきたい。